

## 達成度の評価方法

評価点合計	評価

## 【評価方法】

(当該年度の実績－基準年度実績)

$$1 \text{ 「基礎点数」} = \frac{\text{（当該年度の実績－基準年度実績）}}{\text{（目標値－基準年度実績）}} \times 10$$

(小数点第1位を四捨五入。ただし、9点台の点数については、小数点以下の端数は切り捨て)

※評価対象年数の実績値が目標値を上回る（達成目標が100%を超える）場合は、基礎点数は上限の10点とする。

## 2 「ウエイト」

大項目（1）、（2）に設定している小項目（達成目標）ごとの達成効果への反映割合を設定するもので、小項目の重要度に着目してウエイトを設定することとし、大項目ごとのウエイトの合計が10分の10になるよう設定している。

## 3 「項目点」

項目ごとの基礎点数にウエイトを乗して算出

項目点＝基礎点数×ウエイト（割合）（小数点第二位四捨五入）

## 4 「評価比率」

管理目標全体に対する大項目ごとの達成効果への反映割合を設定するもので、項目の重要度に着目してウエイトを設定することとし、評価比率の合計が10分の10になるよう設定する。（ウエイト設定の考え方が同様）

## 5 「評価点」

大項目ごとに項目点の合計に評価比率を乗じて算出

評価点＝項目点の合計×評価比率（小数点第二位を四捨五入）

## 6 「評価点合計」及び「評価」

大項目ごとの評価点の合計数値によりランク分けしA～Dにより評価

評価点の合計	評価	考 え 方
10.0～9.0 点	A	目標達成に向け努力が評価できる。
8.9～8.0 点	B	目標達成に対し、一定程度の努力評価ができるが、一層の努力を要する。
7.9～7.0 点	C	目標達成に対し更なる努力が必要で、取組み方法等の検討を要する。
6.9～5.0点	D	目標達成への課題や取組みについて検証を行い、取組みの見直し等を要する。
4.9～ 0点	E	業績が著しく不良であり、道が改善指示を行う。 指示等を行ってもなお、改善されない場合は、業務の全部又は一部の停止若しくは指定の取消しを行う

## 7 「例外」

## ①基準年度実績より下回る実績を設定した場合

『基礎点数』・・・目標を達成した場合は、10点、できなかった場合は0点とする。

『項目点』・・・上記「基礎点」に「ウエイト」を乗じて算出する。

## ②新規事業など基準年度実績がない場合

『基礎点数』・・・目標数値に対する実績数値の割合により算出  
(実績数値／目標数値×10)

『項目点』・・・上記基礎点数に「ウエイト」を乗じて算出する。

## 8 調整点

目標設定時点では到底予測できなかった特殊事情のため、目標達成できなかった場合に限り、評価点を調整して加点を行う。

調整点は、不測の事態等により目標値に対する達成率が著しく低い場合に加点することとし、総合評価段階で総点数の一割程度の1.0を加点する。